

**国営事業と情報通信環境整備事業の組み合わせにより、
持続可能な農業・地域社会の礎を築く**



令和6年12月6日

宇佐市 経済部 農政課 国営事業営農対策係

大分県 宇佐市 について

USA CITY MAP
宇佐市へのアクセス

車の場合	
大分県	約40分(特急)
中津市	約35分(特急)
中津市	約1時間30分(特急)
小倉駅	約40分(特急)
新大分駅	約2時間15分(新幹線)

車の場合(宇佐IC)	
大分県	約40分
中津市	約30分
中津市	約1時間30分
小倉駅	約1時間

飛行機の場合(大分空港)	
東京(羽田)	約1時間35分
東京(成田)	約1時間50分
大阪(伊丹)	約1時間
名古屋	約1時間10分

※大分空港→宇佐市(車)高速道路で約1時間

市民憲章

- 一、自然を愛し きれいなまちをつくります
- 一、郷土の歴史や文化を学び 次の世代に伝えます
- 一、仕事に励み 活力あるまちをつくります
- 一、いのちを大切に あたため安全なまちをつくります
- 一、互いを思いやり 健康で明るい社会をつくります

【市の水】
イチイガシ
宇佐市を代表する「宇佐神宮」の境内の中心をなすイチイガシは、市のシンボルです。

【市の花】
つつじ
市内の一般家庭に多く植栽されており、人々の生活とのかかわりが深く、親しまれている花です。

大分県の北部に位置し、瀬戸内海に突き出た国東半島の西側に接している宇佐市は、平成17年に宇佐市・安心院町・院内町の1市2町が合併し誕生しました。

宇佐市の地形は、広大な海と平野からなる宇佐エリア、盆地を中心とした安心院エリア、大小の谷からなる院内エリアによって構成されており、中山間地域から広大な平野が海へと続く変化に富んだ自然環境を有しています。

また、基幹産業である農業でも、地理的特性を活かし、宇佐エリアでは、平野部での米・麦・大豆・いちご、海岸部でのネギ類、安心院エリアではぶどう・お茶、院内エリアではゆずの生産が盛んに行われています。

私はどんな人？

Purpose Carving (by 富士通Japan)

氏名：石川 晋



宇佐市 経済部 農政課
国営事業営農係 総括
我が家で楽しく流しそうめん堪能中

私のパーパス
My Purpose
Ver0.1

みんなの創造性を収斂して、
宇佐市の未来の可能性を広げる。

私が大切に
するもの
My Value

創造性

関係性

可能性

私のパーパスに
まつわる
エピソード
Episodes
Related
to My Purpose

厄介ごとに首を突っ込む元来の性格が災いし、行く先々で誰もやったことがないような業務を振られる、あるいは自分から取りに行くことを繰り返してきた。結果、「行政は総合力で戦うもの」「良好なコミュニケーションを絶やさぬこと」「まだ見えていない可能性の源泉は自分の中にも、目の前のその人の中にも等しくあること」を日々思う。
子や孫のために、より良き未来の宇佐市を目指して今日を頑張る。

氏名：石川 晋 (いしかわ すすむ)

出身：大分県宇佐市安心院町

1972年1月生まれ (52歳)

1997年4月 安心院町役場 奉職

健康福祉課 国保年金係

税務課 課税係

広域事務組合

ごみ処理施設建設推進係 (出向)

健康福祉課 介護保険係

産業振興課 農政係

2005年3月 市町村合併 (新宇佐市)

産業課 農政係

建築住宅課 住宅係

健康課 国保・高齢者医療係 総括

2022年4月 農政課 国営事業営農対策係 総括

本日のセミナー概要

Chapter 1 基本情報・経緯

Chapter 2 地域計画

Chapter 3 情報通信環境整備対策

Chapter 4 自治体DX

Chapter 5 今後の展望

Chapter 1 基本情報・経緯

1-1 宇佐市の農業分野の基本情報

人・農地プラン策定数	8 2 プラン
人・農地プラン関係集落数（行政区）	2 6 0 集落
中山間直接支払取組集落	1 3 0 集落
地域特性	平野部・中山間地域混在
農業形態	土地利用型農業主体、一部園芸作物等あり
地域計画推進体制	通常業務として関連のある部署が一体的に推進体制を構築
使用する地図システム	水土里情報システム
中間管理の契約（年）	1, 8 2 6 筆（令和 5 年度）
再生協議会営農計画書提出率	9 6 . 0 3 %（令和 5 年度）
集積率（特定農作業受委託含む）	7 1 . 3 %（令和 5 年度）

1-2 宇佐市 農政課 国営事業営農対策係の守備範囲

国営かんがい排水事業地区調査「駅館川地区」

- 国営かんがい排水事業「駅館川地区」実施の可否を問うために令和元年度から国が実施
- 令和6年度から全体実施設計に移行
- 受益の調査・作付作物の調査・整備計画・営農計画・農地の集積計画・環境配慮計画等を策定
- 事業としての費用対効果等を総合的に整理
- 次世代型水管理システムの導入（情報通信インフラ整備は含まない）

本来の守備範囲

宇佐市 農政課 国営事業営農対策係

- 国営かんがい排水事業地区「駅館川地区」の推進
- 駅館川地域営農振興計画の策定及び進行管理
- **地域計画の策定**
- **情報通信環境整備対策**

守備範囲として追加

駅館川地域営農振興計画

- 20年後の宇佐市農業のあるべき姿を描く
- 今後の宇佐市の農業分野における振興方針を明確化
- 国・県の各種計画等とも整合性を図りながら整理
- 令和4年11月に策定

地域計画（人・農地プラン）

- 地域における10年後の営農のあるべき姿を見える化
- 担い手・農地の選別
- 集落での座談会を開催し、目標地図を作成
- 地域課題の明確化

情報通信環境整備対策

- 情報通信環境整備計画の策定
- 国営事業に合わせて次世代型水管理システムの実装
- スマート農業推進等のための情報通信インフラの整備
- エンドユーザーの要望調査（ワークショップ等）

Chapter 2 地域計画

2-1 地域計画の推進 (宇佐市地域計画推進マニュアル)

宇佐市地域計画推進マニュアル Ver1.3.3

令和6年8月1日 作成
宇佐市 経済部 農政課 国営事業営農対策係

マニュアル化の目的

1. 地域計画の着実な策定
2. 関係者の共通認識醸成
3. 自治体における農政分野の人材育成
4. 農業者・農業現場での課題掘り起こし
5. 他の自治体との課題共有

1-2. 論点整理 (宇佐市)

地域計画とは？

地域計画推進にあたって その1

- ① 人・農地プランとの違い
- ② 人の制度との関連性及び課題
- ③ 農地の制度との関連性 (農地転用)
- ④ 農地利用地・移転交付対象水田等
- ⑤ 中山間地域直轄支払・集落戦略等

地域計画推進にあたって その2

- ① 物理的要件 (人員・時間等)
- ② 関連システムの利用状況 (eMAFF地図・サポートシステム)
- ③ 中間管理機構・農業者委員会 (耕作継承等の権利認定)
- ④ 中山間地域での施設管理の整理
- ⑤ 協働地の取扱い
- ⑥ 地権者の合意形成
- ⑦ 計画策定後の管理方法

地域計画に含む農地

高	平野部	中山間地域
中	畑	樹園地

1-3. 推進方針・協議の場 (宇佐市モデル)

平野部での協議

人・農地プランを協議の出発地点とする集落単位での「協議の場」を開催。参加者は集落の中心経営体及び行政。現況地図を準備し車庫で協議。

中山間地域での協議

中山間の集落協定を用いて協議。協定集落単位での「協議の場」を開催。参加者は協定参加者。現況地図を準備し協議。

地域特性に合わせ推進方針を変更

2-1. 地域計画策定後の管理 (前提条件)

現況地図

地域計画策定後の管理にあたって 考察1

- ① 関連システムの完成度 (eMAFF地図・サポートシステム)
- ② 地域計画への公表の方法及びその目的

地域計画策定後の管理にあたって 考察2

- ① 集落における地域計画策定の目的 (集落内の農業者で守る集落外の農業者を求める)
- ② 地権者合意のレベル (現況地図/補充地図)

地域計画策定後の管理にあたって 考察3

- ① 実質的な変更を伴うものとそれ以外の変更 (地域の目標達成に支障をきたさずor支障をきたさない)

2-9. 分類による地域計画の変更時期 (宇佐市方針)

統合調査・現況地図データ作成の基本方針

1. 統合調査は毎年3月に実施。
2. 現況地図へのデータの入れ替えのための整理は、統合調査時に毎年必ず実施する。

実質的な変更 (その程度変更)

関係者の意見聴取・地域計画の策定の取扱いが必要

実質的な変更とみなすもの

- 一定地域の変更に関するもの

実質的な変更とみなさないが、状況に応じて実質的な変更と同様の取扱いをするもの

- 補助事業等実施に伴う変更に関するもの

実質的な変更 (後でまとめて変更)

関係者の意見聴取・地域計画の策定の取扱いが必要

実質的な変更とみなすもの

- 耕作者の変更に関するもの

中間管理機構による権利認定については、事前に排他可能。しかし、特定農業作業委託による耕作者の変更をコントロールする際は現時点では存在しない。そのため、毎年当該集落での意見聴取・地域計画の変更の取扱いを行い計画変更することは現実的ではない。

将来

eMAFF地図・サポートシステム・再生協議会の地域農業情報活用システム等関連システムデータ連携の完全性が達成されれば、これらの課題・煩雑な事務作業は解消すると考える。

3-1. 中間管理契約における役割分担 (宇佐市)

地権者

耕作者

中間管理機構 (現地対話)

市農業委員会 (現地利用促進推進員)

市農政担当部局

大分県

県中間管理機構

市農業者委員会

4-4. 地域計画先行策定モデル地区九州協議会 ①

参加者

自治体 宇佐市 (大分県) 飯塚市 (福岡県) 西海市 (長崎県) 八代市 (熊本県) 小林市 (宮崎県) 鹿児島市 (鹿児島県) 喜界町 (鹿児島県)

オブザーバー 九州農政局 農地政策推進課

当日の協議内容

1. 地域計画策定の最終断面の姿について (各自治体の現段階での方針)
2. 県中間管理機構との関係 (地域計画策定後の関係含む)
3. 地域計画の変更・更新作業について
4. 地図情報システムの今後について

当日の関連資料

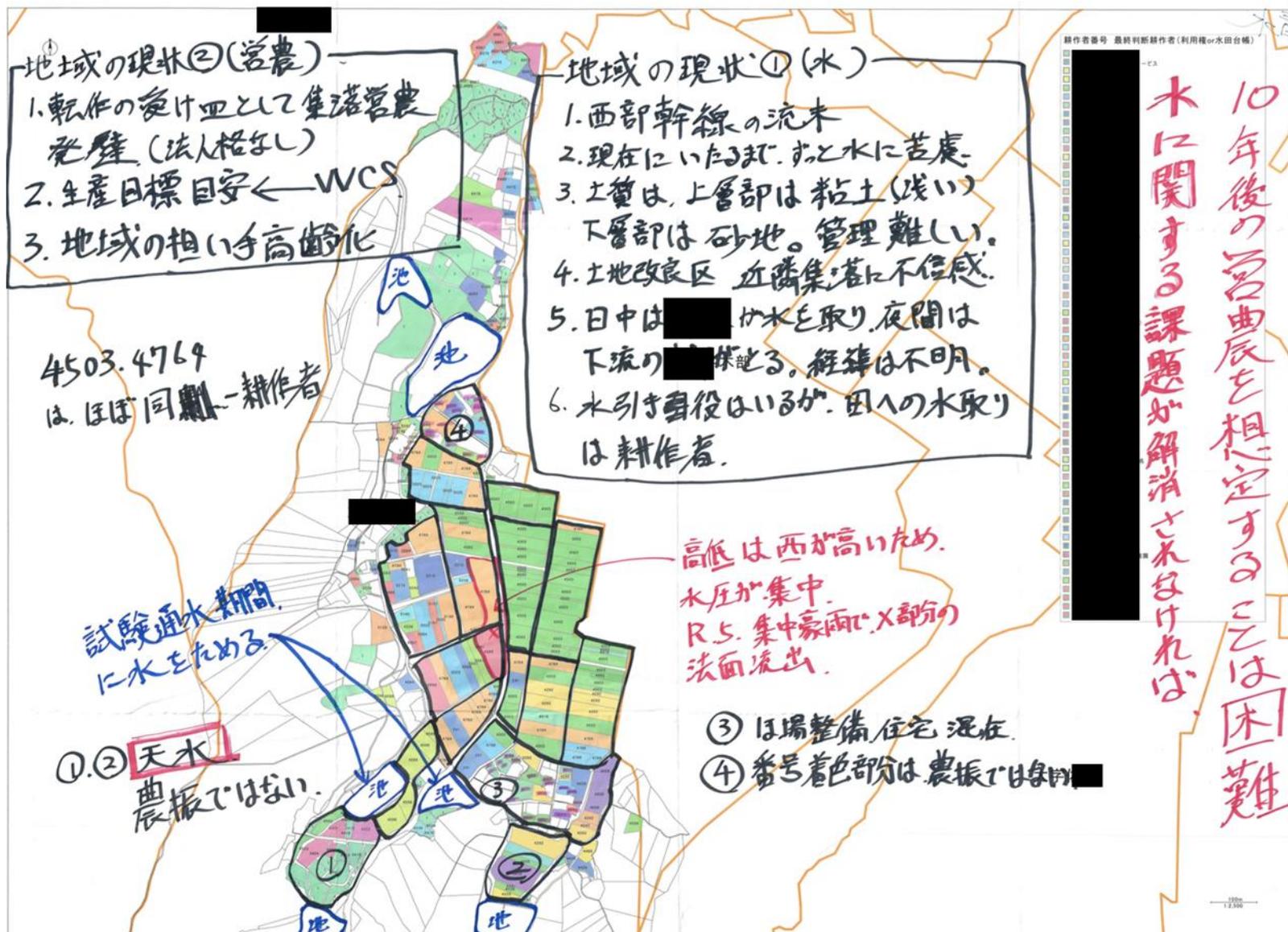
1. 動画 (協議会 6時間分)
2. 議事録 (同上 要点整理)
3. 宇佐市地域計画推進マニュアルVer1.3.2

共有 知見 補完

2-2 地域計画の協議の場 (写真)



2-3 地域計画の目標地図



協議の場開催七箇条

1. 冒頭の制度説明等は最小限に努める。
2. まずは農業者の知っていることを話してもらい、話しやすい場の雰囲気づくりに努める。
3. 地図は魔法の道具。真ん中に広げれば参加者はそれを見ながら自分の知っていることを話し始める。
4. 農業者の発言を引き出せれば、自分たちで作った「地域計画」になる。
5. 集落によっては深刻な地域課題にぶつかる場合もある。
6. 最後のまとめが重要。農業者の総意をまとめる端的なフレーズに収斂する。
7. 集落の農業者にまとまりはあるか？集落の農業者で農地を守ろうという気持ちはあるか？それが判れば補完地図・今後の集約へつながる。

Chapter 3 情報通信環境整備対策

令和5年度実施内容

富士通Japanに委託して実施

1. 現状調査

- ① 計画区域内（宇佐市全域）の情報通信環境の現状と課題
- ② 計画区域内（ // ）の情報通信環境の導入ニーズの把握
（農業者向けワークショップ、市民向けワークショップ、職員向けワークショップ）

2. 施設整備計画の内容精査

- ① 情報通信環境整備のための体制整備
- ② 通信方式及び通信ネットワークの検討
（現地調査、通信方式・ネットワークの検討、試行調査の構成案提示）

3. 農業分野の課題解決に向けたアクションプラン（案）作成

- ① アクションプランに向けた課題整理
- ② 課題解決案の検討
- ③ アクションプラン（案）

3-2 農業者・市民・職員を対象とした3種類のワークショップを開催



3-3 ワークショップから抽出されたアイデア（一部）

抽出されたアイデアの種類

市民および市職員によるアイデアスケッチの描画で抽出されたアイデアをグルーピングした結果、10個に分類され、ボリュームゾーンは“暮らしの高度化”であった



© FUJITSU RESTRICTED

© 2024 Fujitsu Japan Limited 23

抽出されたアイデア（詳細）

No	提案カテゴリ	件名	アイデアの説明	アイデア効果	誰が使う	グルーピング
16	市民	何を作ればどれくらい分かるか			ビッグデータ活用による販売予測	地域活性化
17	市民	AIで目的地に到着	安全 安心 効率が良い	自動運転	市民	農業収益向上
18	市民	宇佐で自給自足したい			農業技術の伝承	農業収益向上
19	市民	バーチャルで農場体験・非現実体験・遊び	体験		VRを使った農場体験	学びの品質向上
20	市民	アプリを使用自動運転車	便利		オンデマンド交通	交通利便性の向上
21	市民	IoTセンサーを用いた高齢者見守りサービス	時間短縮 自立 便利		IoTセンサーを用いた高齢者見守りサービス	高齢者の見守り
22	市民	大学はないけど大学生の街!!	若人増 新しい街 新しい数組み		VR, ARを活用した仮想大学施設の実現	学びの品質向上
23	市民	AIで田舎移住支援	簡単 安心 手軽		AIで移住希望者に最適な場所をレコメンド	人口減対策
24	市民	AI, IoTを活用した宇佐市の防災対策	安心 地域連携		災害時の指揮命令の高度化	安心安全
25	市民	TSUTAEL (ツタエル) 君	依わる わかる つながる		AI, バイタルデータを活用した感情センシング	暮らしの高度化
26	市民	市民にやさしい宇佐市	安心 信頼 手軽		AIロボットによる市役所業務代行	暮らしの高度化
27	市民	USA横断ノマドワーカー	距離 いつでも だれでも		デジタル技術を用いたサービス提供	暮らしの高度化
28	市民	ストレスフリーメダカ	関係性 良好		感情センシング	暮らしの高度化
29	市民	防災・誘導システム	陸空海		ドローン+AIで災害時の最適避難経路の提示	安心安全
30	市民	ジビエの歴史	健康 教育 情報		ジビエの最適調理方法のレコメンド	暮らしの高度化

© FUJITSU RESTRICTED

© 2024 Fujitsu Japan Limited 25

2/1AM 市民実施 Work Output (2/6)

アイデアスケッチ

最新技術の活用による課題の解決

簡単に、いつでも、現実的

アイデアスケッチ

空小用-田舎活用

住む、働く、遊ぶ

アイデアスケッチ

高齢者の見守り

安心、安全

アイデアスケッチ

暮らしの高度化

未来の生活

2/3AM 市民実施 Work Output (1/7)

アイデアスケッチ

TSUTAEL (ツタエル) 君

伝える、わかる、つながる

アイデアスケッチ

言葉以外でも正確に思いが伝わる

10-05 AI-05 04-02 01

アイデアスケッチ

暮らしの高度化

未来の生活

アイデアスケッチ

USA横断ノマドワーカー

距離、時間、コスト

アイデアスケッチ

スリムウェア

AI活用

令和6年度実施内容

○ 情報通信環境整備計画として国に求められているもの

1. 試行調査の実施及び取り纏め（LPWA・Wi-Fi halow）
2. 施設の仕様及び配置計画の検討
3. 整備、運用方式の検討
4. 概算事業費算定
5. 関係機関等との協議事項（国・県・土地改良区等）
6. 事業実施計画図

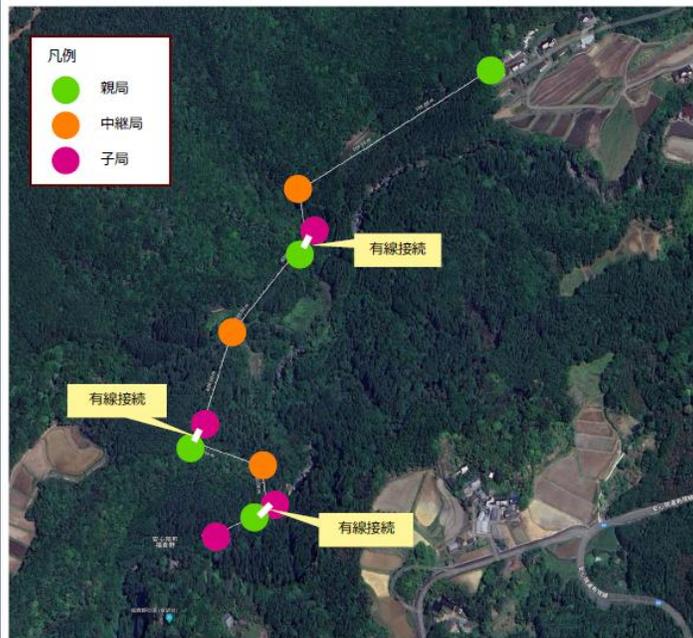
○ 宇佐市独自に取り組むもの

1. ビジョンマップの作成（R5年度ワークショップ）
2. 情報化推進委員会 専門部会やプロジェクトチームとの連携
3. 宇佐市ICTビジョン等に対する助言（情報通信環境整備計画を反映）
4. 宇佐土地改良区がJ:COMと実施する流量測定の反映

3-5 試行調査の実施（山ノ口・寒水）

山ノ口2号頭首工での試行調査構成案

FUJITSU



- 光回線は道路沿いに最寄りの集落に敷設する
 - センサーを接続する子局は福貴野の滝駐車場トイレの周辺に設置する
- ※ 親局、中継局、子局いずれも高所に設置する

- 光回線敷設場所～福貴野のネットワークは、新HaLowネットワーク

※費用対効果の判断がキャリア（ソフトバンク）に委ねられ、活用目的、用途、必ず考えます。

81/ 112

寒水頭首工での試行調査構成案

FUJITSU



- 親局は道路沿いに最寄りの集落に設置する
 - 子局は寒水頭首工の周辺に設置する
- ※親局、子局いずれも高所に設置する
- 子局の設置場所には電源が存在しないため、電源にはソーラーパネルおよびバッテリーを使用する

80/ 112

© 2024 Fujitsu Japan Limited 80

3-6 ワークショップをベースとしたビジョンマップの作成

ビジョンマップ作成の目的の整理結果

FUJITSU

- ビジョンマップでは、市民の未来への希望（わくわく）を感情に訴えかけることに最優先に置きつつ宇佐市としてやっていくこと×どうしていきたいかを融合させたものとする

ターゲット	目的	描画デザイン	描画範囲	ゴール
宇佐市民	市民のゆめを ビジュアル化する	ワークショップの 結果をもとにする	2024~20XX 市の想いを融合	不自由なく生きる 宇佐の進化・深化
	わくわく を実感	市民の 声を反映	八策要素 を盛り込む	満足度 No.1に寄与

Fujitsu Restricted 2 © 2024 Fujitsu Limited

描画要素（宇佐市を想起させるシンボル）

FUJITSU

- 多数のアイデアが抽出され、討議の結果、9種別の名所・名産を記載することとした

Work

01 ビジョンマップ作成の進め方 (Step1 詳細)

■ 採用された案

種別	名所・名産等の名前	よみ
名所	宇佐神宮	うさじんぐう
名産品	ブドウ	ぶどう
名所・複数	石橋	いしばし
発祥の地	お神輿	おみこし
祭り	放生会	ほうじょうえ
名産品	ワイン	わいん
動物園	アフリカザafari	あふりかざふあり
天然記念物	オオザシヨウワオ	おおざんしょうお
名産品	ゆず	ゆず

その他抽出したアイデア
唐揚げ/すっぱん/小ねぎ (味-ねぎ) /麦焼酎/ドジョウ/麦秋/宇佐平野/鹿嵐山/御許山/千の岩/亀王山/岳切深谷/東椎谷/西椎谷/五百羅漢/地獄産葉/佐田京石/西本願寺/東本願寺/龍岩寺/道の駅/観音/権休塚/爆弾池/世界灌漑遺産/双嵐山

Fujitsu Restricted 3 © 2024 Fujitsu Limited

実行施策のイメージの絞り込み

FUJITSU

- 市職員による討議・投票の結果、以下をビジョンマップに描画することとした

キーワード	八策	描くシーン	社会課題
情報インフラ、ネットワーク	育む	市内に居ながら、言語の垣根を超えて人々がつながり学びを行っている状況	都市部との教育格差
仮想空間	興す・繋がる	仮想空間でのマッチング他業種間での繋がり新しいビジネスルートの構築	産業振興
センシング	安全安心・守る	スマート機器における/バイタル管理GPSやスマートカメラによる状況の把握緊急時と判断された場合の救助システム	健康・安全安心
仮想空間	育む・繋がる	メタバース空間の宇佐市 (空中都市USA) で、新たな交流が生まれる。 [空に浮かぶ都市をイメージ]	都市部との教育格差 生涯学習、産業振興
行政DX	信頼される	全体最適を目指し、常に進化する宇佐市 (人工知能と人の融合をイメージ)	行政DX
無人タクシー	築く	アプリから予約情報を受領した無人タクシーが稼働している様子	移動・買い物
空き家対策	築く	空き家が新たな施設に変わる様子 (施設はピカピカ光っている)	空き家対策
スマート物流	守る・建く・築く	ドローンによる物流、災害時でも滞りなく	物流課題 (災害対応含む) 移動・買い物
教育	育む	プロジェクターとスクリーンで映し出された他校の生徒や、先生と授業を受けている様子 (教室)	都市部との教育格差
PMH	安心安全・守る	医療従事者・企業・行政が一丸となり市民を支えるネットワークを構築している様子。 各画像のイメージに役所や企業の職員を追加したい (画像には医療が複数含まれているが組織につき行つのイラストが良い)	健康・安全安心・データ解析
スマート農業	興す	自動化・データ (スマホ) 作業している。	産業振興
スマート農業	興す	自動化・データ (スマホ) 作業している。	産業振興

Fujitsu Restricted 4 © 2024 Fujitsu Limited

描画イラスト案（全体）

FUJITSU

全体的なイメージ（空中都市宇佐）

- 宇佐市が仮想空間を活用し、市民の生活をより豊かに、そして持続可能な未来都市へと進化していく様子を表現
- テクノロジーと人間の調和がとれた、明るく希望に満ちた都市
- 人々の笑顔が溢れ、活気に満ちた街並みを描く
- 全体的に明るい色調で、未来への希望を感じさせるような絵に仕上げ

Sample
※フリー素材より転載

未来都市の景観

- 空中に浮かぶ未来的な建物群、スマート機器が連携する様子が描かれ、仮想空間でのビジネス活発化を表現

多様なビジネスシーン

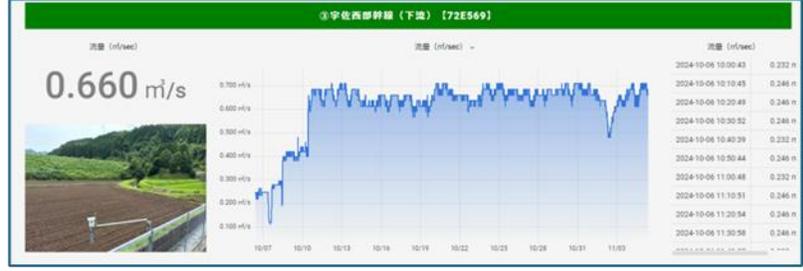
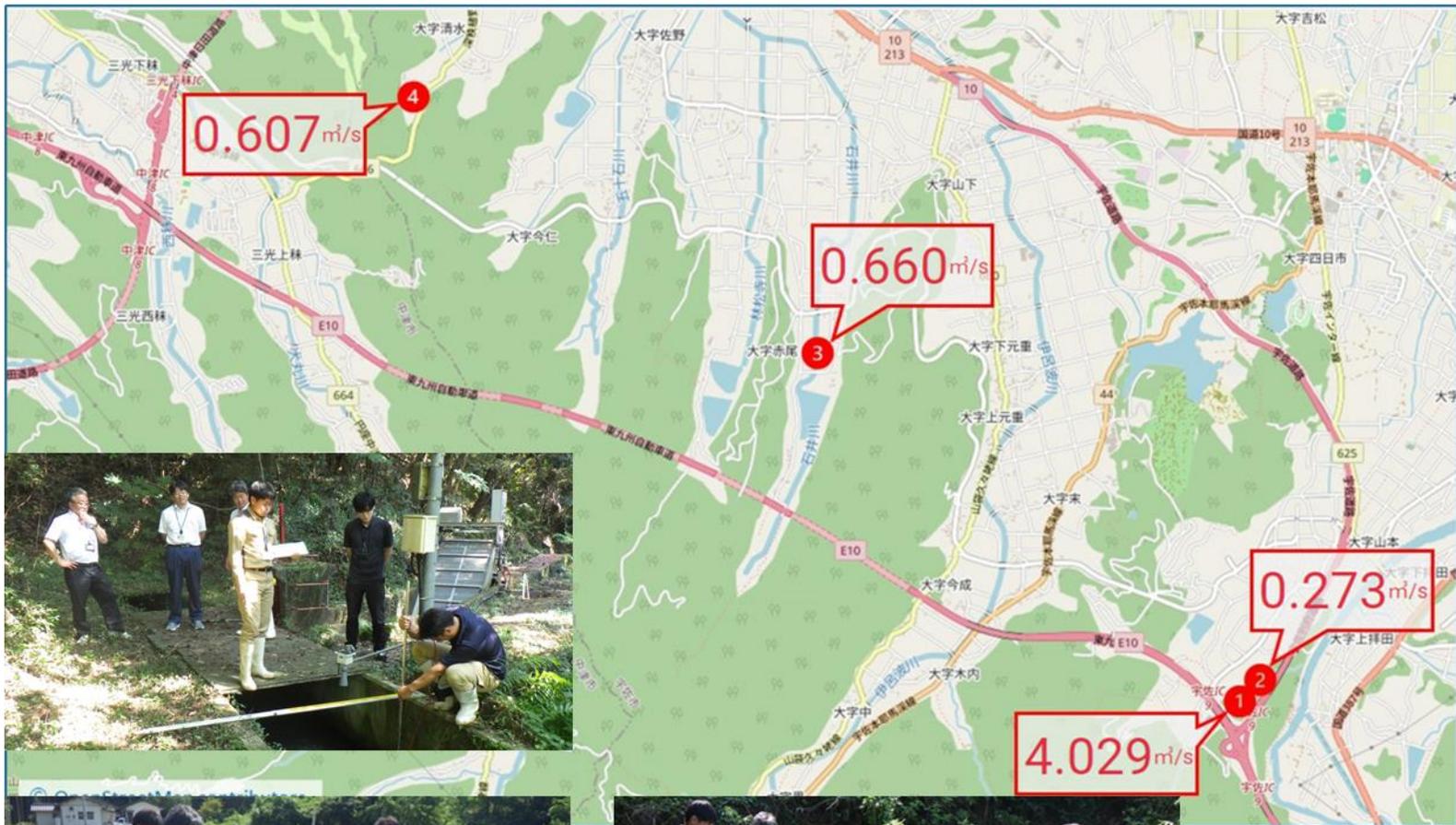
- IT企業と農業スタートアップのオンラインでの連携、ウェアラブルデバイスによる健康管理、無人タクシーによる移動、空き家のリノベーション、ドローンによる物流、オンライン授業など、様々な分野での仮想空間活用が描く

市民生活の進化

- 医療従事者、企業、行政が連携し、市民の健康と安全を守るネットワークが構築されている。また、自動化により、市民は時間を有効活用し、生活の質が高まっている

Fujitsu Restricted 5 © 2024 Fujitsu Limited

3-7 水位計の設置 → 流量測定へ (大分ケーブルテレコム株式会社)



Chapter 4 自治体DX

4-1 宇佐市がDXを農政部門主導で進められた要因（組織としてのインセンティブ）

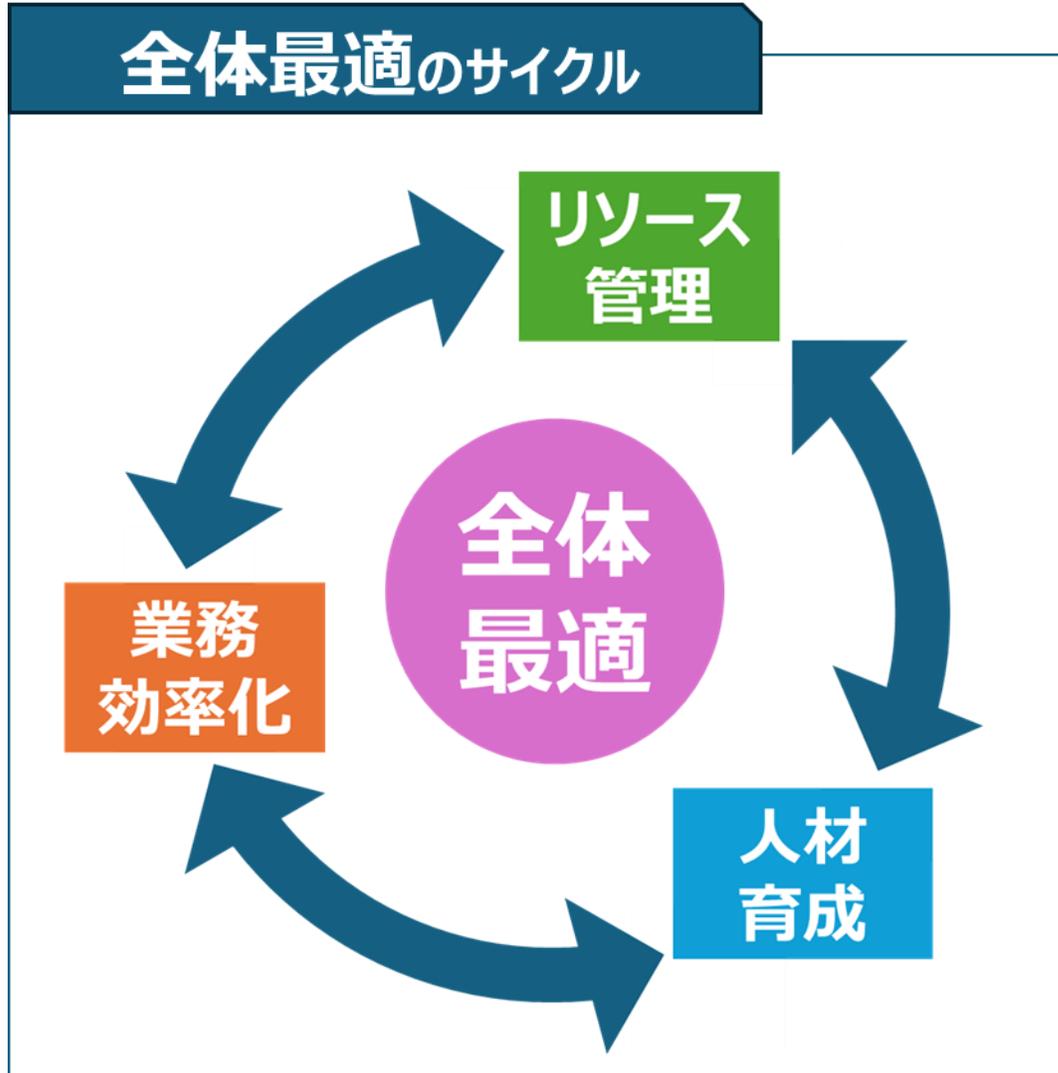
何で農政がやってるの？

上層部をどうやってだましたの？

農政分野が主導して進めることは
現実的ではない!!

1. 自治体DX推進計画（令和7年度）の策定を求められている現状。
2. 国営かんがい排水事業「駅館川地区」の推進という宇佐市としての**大義名分**の存在。
3. 国営事業実施における次世代型水利システムの構築を目指すため**準備会**に加入。
4. 情報インフラ整備の**目的・課題・手段**等が明確に。
5. **ランニングコスト**や**DX**も含む**幅広い視野**を獲得。
6. 宇佐市情報化推進委員会を中心とした**DX推進体制**の構築。

4-2 DX推進のための3つの柱



リソース管理

短期的→長期的

リソース = 資源
 「人」・「もの」・「金」の最適配分
 + 「時間」・「情報」・「知的財産」のマネジメント

総務課

総合政策課

行財政経営課

業務効率化

随時

現場が主体
 担当業務全般の知識（関連職場も含む）
 マインドセットの醸成

各課

総務課

総合政策課

人材育成

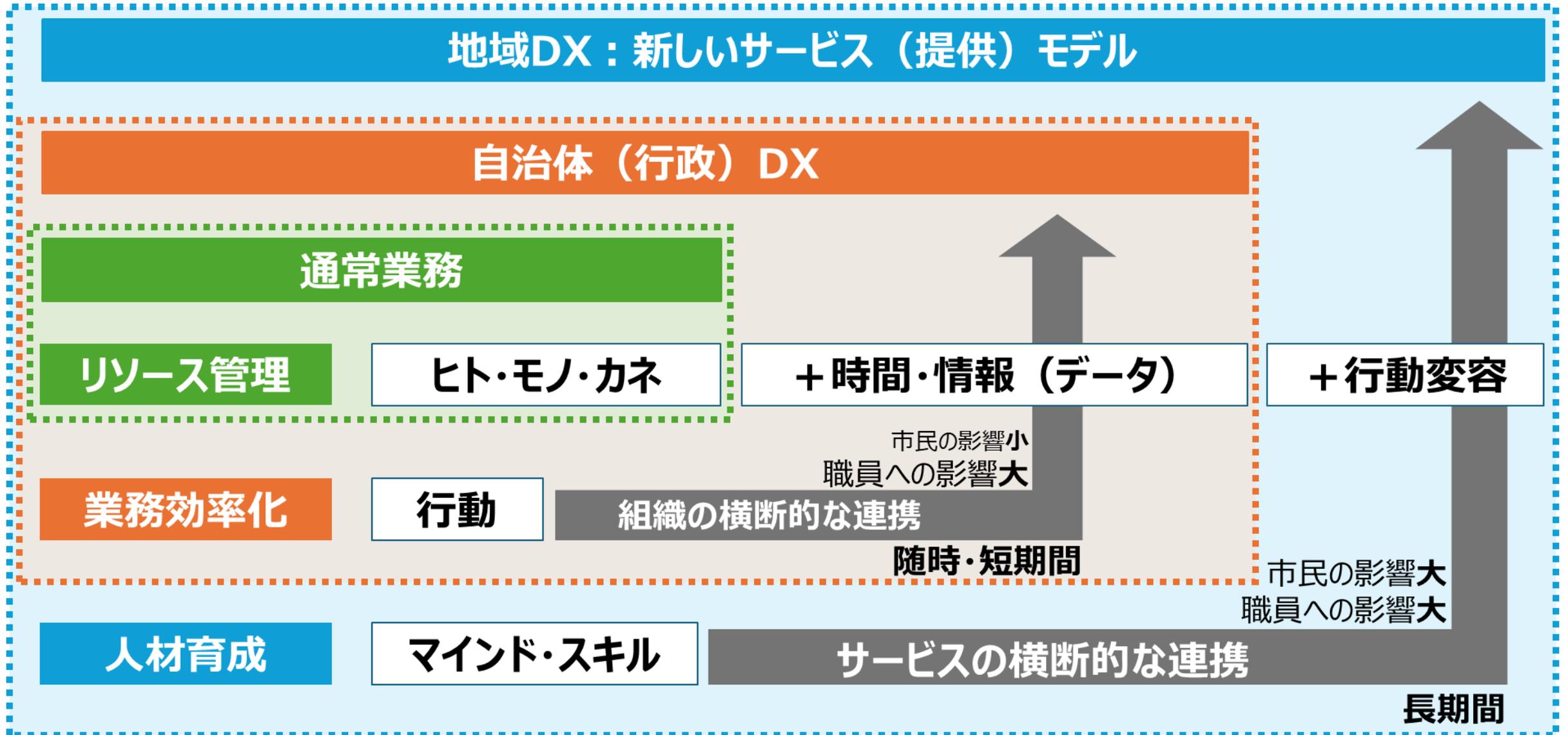
長期的

教育による職員のレベルアップ・バージョンアップ

総務課

総合政策課

4-3 3つの柱の関係性



4-4 今後の取組について

目指すべき姿	課題	解決策	得られる効果
リソース管理 ① 人員配置適正化 業務量適正化	人員総数の把握 業務量の把握	職員総数の調査（会計年度含む） 業務量の実数による把握 事業総数の把握	職場環境の改善 ex：働きやすい職場環境
リソース管理 ② 予算措置適正化 財政状況適正化	定期的な政策査定	政策査定の定量データ利用 定型的なKPI設定	予算配分の改善 ex：必要予算の確保
業務効率化 業務マニュアル整備 紙媒体のデータ化	紙保存 手書き・手計算	現行マニュアルの見直し データツール活用	労働条件の改善 ex：労働時間縮減
人材育成 体系的な人材育成 研修の提供	スキルの不足 マインドセットの不足	行動変容を促す 体系的な研修メニュー実施	社会変化に対応できる人・ 組織の創造 ex：「働きがい」の向上

4-5 宇佐市自治体DXの推進（組織）

宇佐市情報化推進委員会

目的：総合的な情報化の整備を円滑に推進し、効率的な行政運営の確立及び市民サービスの向上を図る。

- ① 副市長が委員長、市の部長級で構成
- ② **情報通信環境整備計画の承認**
- ③ **下部組織として専門部会を新設**

既存

計画承認

計画提案

設置

新設

情報通信環境整備計画策定委員会

目的：次世代型農業水利システム構築・スマート農業実装のため情報通信環境整備計画の策定

- ① 農政・耕地・総合政策（情報関連）部門で構成
- ② **宇佐市DXアドバイザー（KIAI）の参画**
- ③ 計画策定委託業務の進行管理、客観的・合理性の担保
- ④ 各作業部会との連携
- ⑤ **情報通信環境整備計画（案）を委員会へ提案**

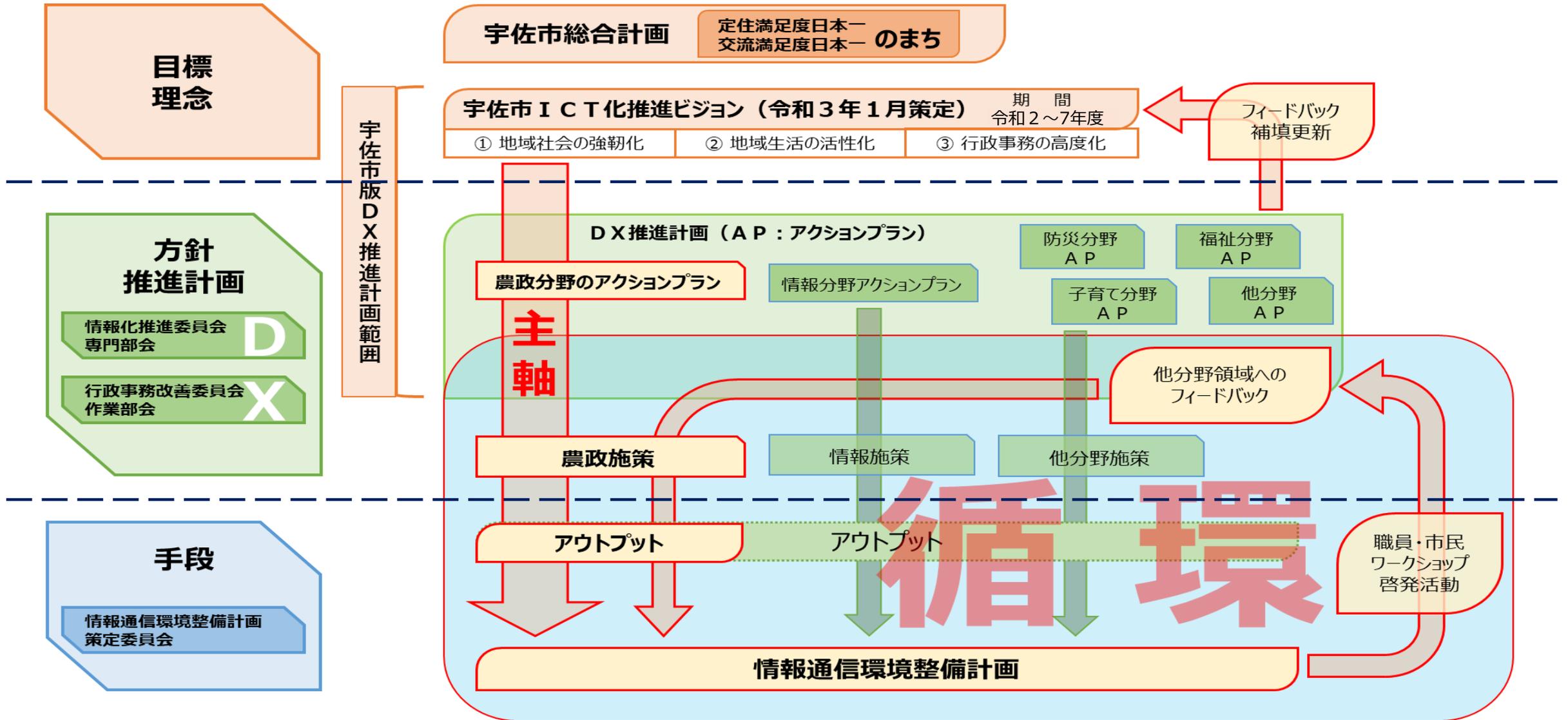
連携

宇佐市情報化推進委員会 専門部会

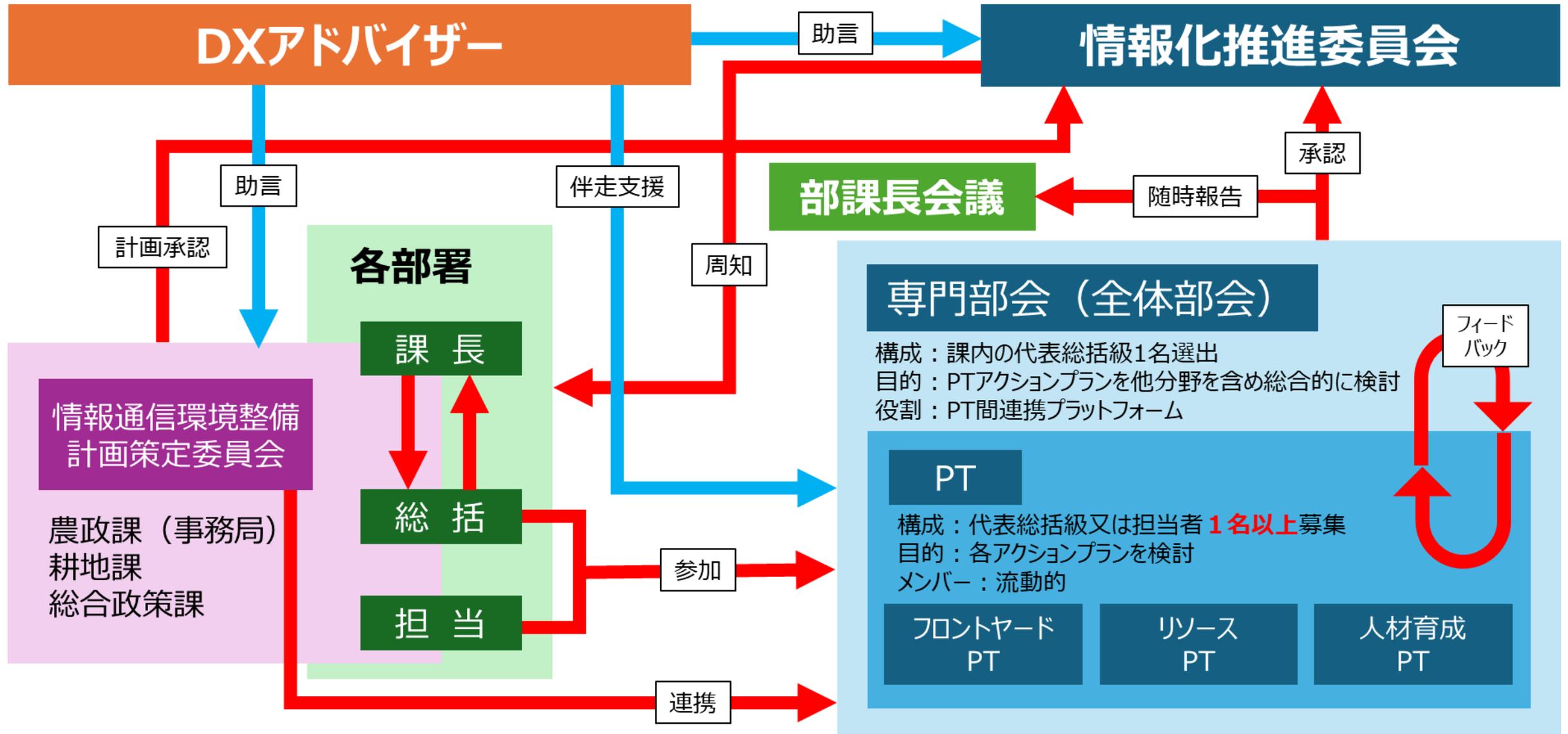
目的：業務改善及びICT等の導入により現状の課題解決や、広く市民サービス向上を図るための協議の場

- ① 総括級以下で構成
- ② 実務者として、業務改善・情報化推進を検討
- ③ **既存の市民サービスのICT化等による利便性向上の検討**
- ④ **ICT化等による新たな市民サービスの創出**

4-6 宇佐市自治体DXの推進（計画）



4-7 宇佐市情報通信環境整備対策推進（DX推進含む）体制



4-8 今後のスケジュール



4-9 Purpose Carving (8/19) の様子



4-10 BPR研修 (8/26) の様子



Chapter 5 今後の展望

5-1 令和7年度 予算編成（宇佐市）①

実施計画

スケジュール
7月 作成開始（担当課）
提出（企画部門）
9月 ヒアリング（企画・財政）
10月 翌年度実施事業の判定

農政課 国営事業営農対策係として
情報通信環境整備に着手するため令和7年当初は1千万円
（国庫1/2）で計画

判定結果は・・・

当初予算編成

11月 作成開始
※実施計画の判定結果を踏まえる

5-2 宇佐市情報通信環境整備計画

○ 自治体における「計画策定」と「計画実施」の関係

計画策定

1. 自治体としてどのような整備を行うかを規定
(整備の目的や整備方針を定めるための計画)
2. 予算上の制限は少ないが実施時期については不確定
(実施計画を策定し実施)

タイムラグ

計画実施

1. 実施計画で具体性を詰めて実施
(企画部門の調整機能が重要)
2. 自治体の財政状況等が強く影響
(一般財源の持ち出しを懸念)

宇佐市情報通信環境整備計画（イメージ）

- ① 「計画策定」は**平面的**な計画としない。
- ② 実施時期は**明確**にしない。
- ③ 様々な状況の変化に対応できる計画を目指す。

- ④ 汎用性が高く、実施時点で選択可能な計画（**3次元モデル**）の作成
- ⑤ 他の自治体でも利用可能な情報通信環境整備計画モデルへ

5-3 令和7年度 予算編成（宇佐市）②

令和7年度の予算編成に向けての課題

情報通信環境整備については、整備手法により維持管理費が膨大となることが想定されるため、他事業で利用している既存通信や今後予定される通信整備等との統合により機能向上、経費削減が図られ事業効果が拡大するための取組を求められている。

聞いたことある・・・

これは全体最適の「お話し」

「全体最適」は自治体DX推進の機関部

「全体最適」をキーワードに 一方（現場）は**推進**
他方（企画・財政）は**抑制**

そもそも「全体最適」の阻害要因は何？

<自治体の組織>

- ① 現在の組織構造・体質
- ② 人員・予算の配分不良
- ③ 陳腐化した人材育成プログラム

<自治体の個人>

- ① 従順な人間性
- ② 前例踏襲を重視
- ③ 変化をリスクと捉える姿勢

相互に再醸成

5-4 まず取り組むべきもの

<自治体の組織>

- ① 現在の組織構造・体質
- ② 人員・予算の配分不良
- ③ 陳腐化した人材育成プログラム

相互に再醸成

<自治体の個人>

- ① 従順な人間性
- ② 前例踏襲を重視
- ③ 変化をリスクと捉える姿勢

このままではDXは進まない

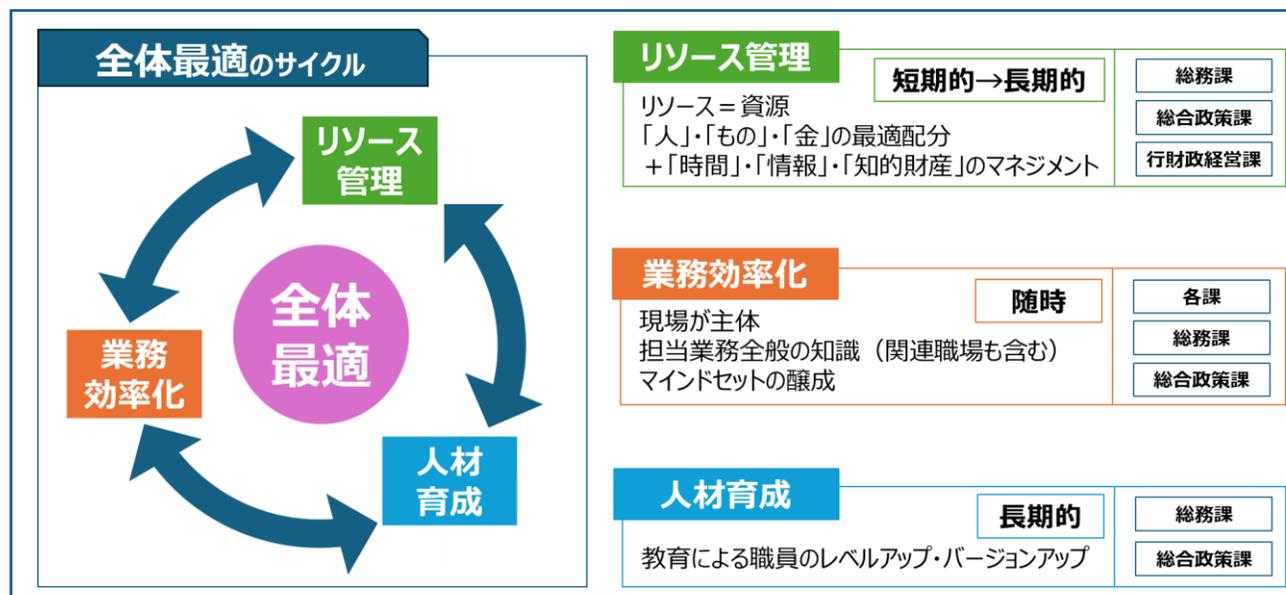
まず取り組むべきは…

組織・体制の見直し

リソース管理

業務効率化

人材育成



5-5 宇佐市のDX推進

このままでは不味いことは、各担当業務の中で、多くの職員が気づいている。
しかし、何処から・何から手を付けてよいかわからない。

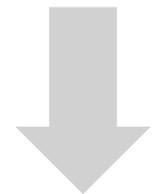
組織内のイノベーターが少ないため、役割分担（事務分掌）で押し付けても、
誰もやらない・やり方が分からない。

自治体の現状

1. 深刻なリソース不足
2. 縦割りで前例踏襲を重視し、努力が報われにくい組織体質
3. 団塊の世代の大量退職により10年で急速に世代交代が加速
4. 職員の離職率が年々増加



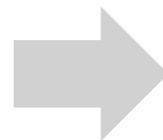
分業から協働へ
(一緒にやる)



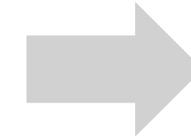
自治体DX推進
パッケージ

目指すべき姿

リソース管理
業務効率化
人材育成 } 予算・人材・人員
の適正配分



自治体DX { 内政化
パッケージ化



5-6 ここからは私の妄想…

個人

DX推進リーダー育成PTで個人の行動変容を促し、協働・改革の意識を生み出す。

組織

リソース管理PTで現状把握、フロントヤード改革PTで課題抽出・課題解決を組織的に進める。

DXに終わりはない。停滞せず変化し、新たな付加価値（リソース等）を生み出し続ける必要がある。

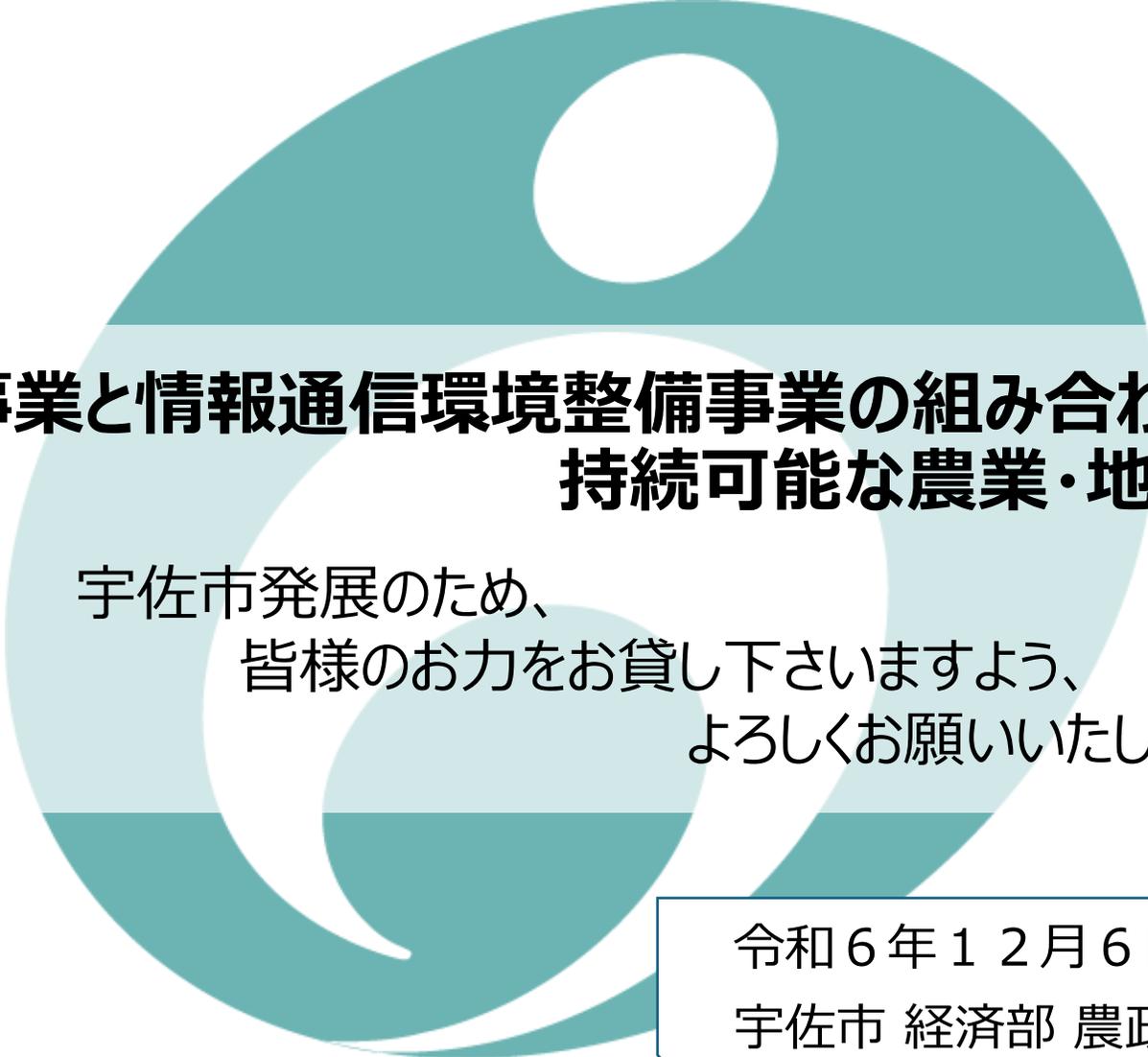
**地域計画「推進・管理」マニュアル
情報通信環境整備計画（3次元モデル）
自治体DX推進パッケージ**

- ① 個人（自治体職員）へのインセンティブの確保
- ② 一般財源に依存する構造からの脱却

自治体内ベンチャーの創設

- 宇佐市からの委託業務（課題解決支援）
- 研究対象としての宇佐市
- 国・県の補助事業活用
- 民間企業の協力・出資
- 教育機関との学術連携
- 「知見」の蓄積
- 他自治体からの委託業務（課題解決支援）

宇佐市をフィールドにした「課題解決」パッケージ



国営事業と情報通信環境整備事業の組み合わせにより、 持続可能な農業・地域社会の礎を築く

宇佐市発展のため、
皆様のお力をお貸し下さいますよう、
よろしくお願いいたします。



令和6年12月6日

宇佐市 経済部 農政課 国営事業営農対策係